

H23年2月の沿岸域の海況と漁況

2月の漁況

- ・1月下旬にみられたサワラの好漁が落ち着いた。
- ・ハマチ、スルメイカ、トラフグの漁獲が始まった。
- ・アジ類の漁獲量は1月下旬とほぼ同等。

各地の漁獲情報 (2/21~2/25まで)

出所: 漁協担当者への聞き取り調査による

漁法	魚介類	水揚場所	漁獲量 (1日あたり)	操業数 (1日あたり)	備考
刺網	サワラ・サゴシ	淀江	20~100箱	3~4隻	サワラ:3本入り主体
		御来屋	最高70箱	13~15隻	サワラ:1~4本入り
		赤碕	20~60箱	5~6隻	サワラ:1~4本入り
		泊	5~90箱	3~6隻	
		酒津	30~100箱	2隻	サワラ:2本入り主体
アジ類		淀江	10~50箱	5~6隻	
		御来屋	最高50箱	13~15隻	
		赤碕	20~30箱	5~6隻	
		酒津	10箱前後	1~2隻	
ハマチ		御来屋	最高50箱	13~15隻	
		赤碕	100~200箱	5~6隻	
		泊	3~330箱	3~10隻	
		酒津	30~130箱	1~2隻	
タイ類		御来屋	最高40箱	13~15隻	
		赤碕	10箱前後	5~6隻	
メバル・カサゴ		淀江	2~3箱	3~4隻	
活魚類		泊	20~40kg	2隻	ヒラメ主体
かご	カワハギ	酒津	10~20箱	2隻	
桁網		泊	20~40箱	2隻	
曳き縄	サワラ	淀江	1~3本	2~3隻	
はえ縄	トラフグ	淀江	2~60本	2隻	
一本釣	スルメイカ	赤碕	5~10箱	3隻	
潜り	サザエ	泊	50~100kg	2~3隻	
		アワビ	5~10kg	2~3隻	
		ナマコ	10~20kg	1~2隻	

●2月の沿岸域の海況

表面水温は昨年同期より約1℃低下。1月に比べて約2℃降下。
植物プランクトンが大発生し、クロロフィルa量は1月に比べて急増。

- ・表面水温は10.9~11.2℃、0~50m層の平均水温は11.0~11.2℃。
- ・沖側では深度100m以上の混合層（水温11℃台）が発達。
- ・沖側の水深185m（底層）の水温は6.3℃（1月は3.2℃）。

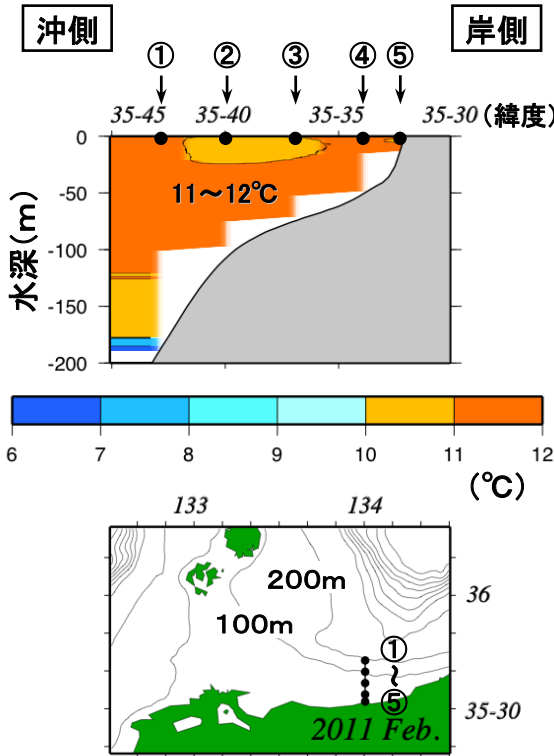


図1) 2月24日の長尾鼻沖（下図）における水温の鉛直断面図（上図）

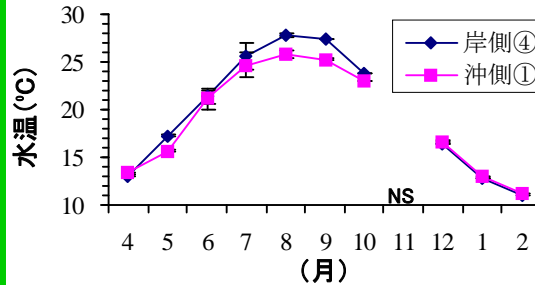


図2) 4~2月の20m以浅の水温の平均値の季節変化. NS: 観測データ欠測.

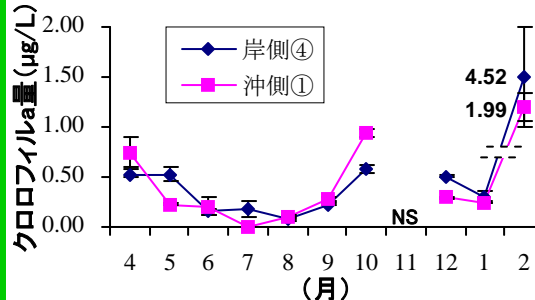


図3) 4~2月の20m以浅のクロロフィルa量の平均値の変化. NS: 観測データ欠測.

- ・水温は1月に比べて約2℃降下。
- ・クロロフィルa量は1月に比べて岸側と沖側でそれぞれ4.2と1.7µg/L増加して高水準。